

平成 28 度全国学力・学習状況調査の結果について

二宮町教育委員会

1 はじめに

平成 28 年 4 月に実施された「平成 28 年度全国学力・学習状況調査」の二宮町立小・中学校の調査結果の概要をお知らせします。二宮町教育委員会では調査結果及び課題等を公表することにより、町民の皆様をはじめ児童生徒に関わる様々な立場の方に関心をもっていただき二宮町の学習状況の改善や児童生徒の学習意欲の向上につなげていきたいと考えております。

本調査の結果は町全体のものであり各学校や児童生徒個人の学力や学習状況を表すものではありません。また、本調査は児童生徒が身に付けるべき学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面の結果です。

町民の皆様におかれましては、本調査の目的及び結果公表の趣旨をご理解いただくとともに、数値結果だけを重視するのではなく教育の過程も勘案いただき、本町の児童生徒の健全育成のために公表資料を有効にご活用くださいますようお願いいたします。

2 調査の概要

(1) 調査の目的

- ・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る
- ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる
- ・以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する

(2) 調査の内容

- ・教科に関する調査（国語、算数/数学）
- ・生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査（児童生徒に対する調査、学校に対する調査）

(3) 実施期日

平成 28 年 4 月 19 日（火）

(4) 調査を実施した児童生徒数

小学校 6 年生 2 1 8 人（3 校合計）

中学校 3 年生 2 2 9 人（2 校合計）

3 調査の結果

(1) 教科に関する調査の平均正答数、平均正答率、中央値、標準偏差

- ※ 平均正答数：児童生徒の正答数の平均。(正答数の平均/総問題数)
 平均正答率：児童生徒の平均正答数を百分率で表示。ただし、平成 28 年度は小数点以下第 1 位の数値を公表することが、数値データによる単純な比較が行われ、序列化や過度な競争を助長する一つの要因として考えられることから、文部科学省は都道府県別の平均正答率を整数値で公表。都道府県に対しても同様の配慮を求めていることから二宮町の平均正答率も小数点以下第 1 位を切り捨てて表示。
 中央値：集団のデータの大きさの順に並べたときに真ん中に位置する値。
 標準偏差：集団のデータの平均値からの離れ具合を表す数値。

[小学校]

	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
国語 A	10.9問/15問	72%	12.0	3.2
国語 B	6.1問/10問	60%	6.0	2.3
算数 A	12.5問/16問	78%	13.0	3.4
算数 B	6.2問/13問	47%	6.0	2.8

[中学校]

	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
国語 A	25.3問/33問	76%	26.0	4.9
国語 B	6.2問/9問	68%	7.0	2.2
数学 A	23.5問/36問	65%	24.0	7.9
数学 B	6.8問/15問	45%	7.0	3.4

(2) 各教科の概要

[小学校：国語]

	課題が見られる設問	良好な設問
A	<ul style="list-style-type: none"> 漢字を書くこと ローマ字を読むこと、書くこと 	<ul style="list-style-type: none"> 書き手の表現の仕方をよりよくするために助言する 目的や意図に応じて、書く事柄を整理する 登場人物の人物像について、複数の叙述をもとにして捉える
B	<ul style="list-style-type: none"> 話し手の意図を捉えながら聞き、話の意図に沿って質問する グラフを基に、分かったことを的確に書く 	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて、質問したいことを整理する 活動報告文において、課題を取り上げた効果を捉える 目的に応じて、複数の本や文章などを選んで読む 目的に応じて、本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫する

[小学校：算数]

	課題が見られる設問	良好な設問
A	<ul style="list-style-type: none"> 数の大小を理解している 1を超える割合を百分率で表す場面において基準量と比較量の関係を理解している 	<ul style="list-style-type: none"> 除数が1より小さいとき、商が被除数より大きくなること 除数と被除数に同じ数をかけても商は変わらない 小数の計算

B	・縦にかくことができる正方形の数を求め、24個の正方形がかける理由を記述できる	・示された説明を解釈し、用いられている考えを別の場面に適用してその説明を記述できる
---	---	---

[中学校：国語]

	課題が見られる設問	良好な設問
A	・漢字を正しく書く ・文の成分の照応について理解する	・目的に応じて資料を効果的に活用して話す ・全体と部分との関係に注意して話を構成する ・文章の展開に即して情報を整理し内容を捉える
B	・課題を決め、それに応じた情報の収集方法を考える	・文章の構成を捉える ・文章の展開に即して内容を理解する

[中学校：数学]

	課題が見られる設問	良好な設問
A	・対称移動した図形をかくことができる ・測定値が与えられた場面において、近似値と誤差の意味を理解している	・正の数と負の数の加法の計算ができる ・一元一次方程式の解の意味を理解している ・命題の逆を理解している
B	・与えられた情報から必要な情報を選択し、数学的に表現することができる	・与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理することができる

(3) 児童生徒質問紙調査

『1. している・当てはまる・そう思う 2. どちらかといえばしている・当てはまる・そう思う 3. あまりしていない・当てはまらない・そう思わない 4. 全くしていない・当てはまらない・そう思わない』という選択肢のうち、「1. している・当てはまる・そう思う」と回答しているものが全国平均と5%±の差があるものを太字で表示しています。小・中いずれも差が5%未満のもの、「している・当てはまる・そう思う」という回答では答えられない質問については記載していません。質問内容は簡略に記載しています。

質問番号	質問内容	小学校(%)			中学校(%)		
		二宮町	神奈川県	全国	二宮町	神奈川県	全国
4	最後までやり遂げて嬉しかった	68.3	73.1	71.9	77.7	72.0	72.7
5	難しいことでも失敗を恐れずに挑戦する	30.3	24.4	25.3	21.4	18.7	19.0
7	友達の前で考えや意見を発表することが得意	29.4	23.4	21.2	18.8	18.7	17.6
8	友達の意見を最後まで聞く	59.6	54.7	56.3	62.0	52.8	55.1
19	家の人と学校での出来事を話す	51.8	52.0	52.4	52.8	41.7	44.2
21	家で自分で計画を立てて勉強している	24.3	25.8	26.7	23.6	16.4	16.0

23	家で授業の予習をしている	17.9	16.2	16.7	22.7	15.3	11.9
25	家で教科書を使いながら自学学習をしている	26.6	28.0	34.5	38.0	35.6	36.5
26	学校に行くのは楽しい	50.5	55.6	55.2	50.2	47.2	48.4
28	好きな授業がある	78.9	80.8	79.9	66.4	55.5	54.7
29	学級のきまりをみんなで決めている	31.7	37.5	39.6	60.7	36.7	38.9
30	少数意見を尊重し折り合いをつける	15.1	16.4	18.0	26.2	16.1	17.8
31	何かをやり遂げ嬉しかった	54.1	57.4	58.5	70.7	55.6	57.9
32	先生はよいところを認めてくれている	34.4	39.0	42.2	40.6	28.9	32.2
33	先生は分かるまで教えてくれる	35.3	42.9	47.9	30.1	24.7	28.2
36	ボランティア活動に参加したことがある	28.4	31.6	36.2	64.2	46.3	48.7
38	ニュースを見る	68.8	59.9	57.2	61.6	55.9	55.0
39	学校の規則を守る	42.2	38.4	42.9	71.2	56.0	61.6
41	人が困っているときには助ける	33.5	36.1	37.0	45.0	31.8	34.1
42	いじめは許されない	78.0	79.5	83.1	82.1	68.2	74.8
43	人の役に立つ人間になりたい	66.1	69.1	71.2	73.4	64.9	69.3
44	「総合」が好き	41.3	38.7	37.4	34.1	22.2	26.0
45	「総合」は普段の生活や社会で役に立つ	41.7	40.8	41.6	32.8	19.7	25.8
46	「総合」で課題決定・情報収集/整理・発表している	22.0	25.2	25.8	49.3	16.7	18.1
49	授業で児童・生徒の間でよく話し合う	51.8	43.9	45.2	42.8	30.5	34.9
50	授業で課題決定・情報収集/整理・発表している	28.4	28.4	29.4	31.9	19.8	22.3
51	授業で意見を最後まで聞き自分の意見を伝えた	35.3	31.8	33.4	34.5	23.1	25.4
52	発表のとき資料や文章、話の組み立てを工夫した	25.2	24.6	24.0	31.9	17.3	17.0
53	授業の中で目標が示されていた	51.8	50.8	56.9	57.2	33.9	47.6
54	授業の最後に振り返りを行った	31.2	35.9	39.9	21.4	19.5	23.3
55	ノートに目標やまとめを書いていた	57.8	61.0	67.4	48.5	32.4	43.8
56	道徳で考えを深めたり話し合ったりした	31.7	33.0	37.0	32.3	25.0	31.9
57	400字2～3枚の感想文や説明文を書くのは難しい	33.9	31.0	34.1	23.1	34.9	36.2
58	考えを説明したり文章に書いたりするのは難しい	21.6	22.8	23.9	20.5	28.4	30.3
67	国語の授業で話の組み立てを工夫した	23.4	21.4	20.8	24.9	17.2	15.9
68	国語で自分の考えを理由に気を付けて書く	33.9	32.4	31.9	29.7	22.9	23.1
72	算数/数学は大切だと思う	73.4	74.1	72.6	55.9	44.8	47.0
73	算数/数学の授業がよく分かる	38.5	47.8	46.7	43.7	34.3	31.7
74	算数/数学ができるようになりたい	53.2	52.3	50.7	86.5	73.9	74.4
75	諦めずにいろいろな方法を考える	42.7	44.1	44.8	50.2	34.7	35.1
77	算数/数学の授業は将来役に立つ	70.2	68.6	67.6	45.9	34.2	36.9
78	もっと簡単に解く方法を考える	45.4	48.4	47.8	43.2	36.1	35.5
79	公式やきまりの根拠を理解する	43.6	46.3	45.5	40.6	32.7	32.2
80	算数/数学の解き方や考えをノートに書く	48.6	56.8	55.8	59.0	48.3	47.3

4 結果について

(1) 教科に関する調査より

どの教科、領域も全国や神奈川県の結果と比較して著しい差異は見られません。選択式、短答式、記述式など回答方式による平均正答率も全国のそれとおおむね同じ傾向です。正答数の中央値は小学校では国、県と同じで、中学校では若干上回っており多くの児童生徒が国や県の平均的な児童生徒と同様に学習内容を理解しています。

漢字やローマ字の読み書き、数の大小など基礎的な内容に課題が見られますので繰り返して学習をしたり、家庭学習と連動したりするなどして定着を図ることが望まれます。

(2) 質問紙調査より～授業について～

肯定的な回答が多かった設問は次の通りです。

- ・友達の前で考えや意見を発表することが得意である
- ・友達の意見を最後まで聞く
- ・授業で話し合いをする
- ・友達の意見を最後まで聞き自分の意見を伝える
- ・発表のときに資料や文章、話の組み立てを工夫する
- ・400字詰めの作文用紙2～3枚の感想文や説明文を書くのは難しい（1の回答が少ない）
- ・考えを説明したり文章に書いたりするのは難しい（1の回答が少ない）

「総合的な学習」に対する肯定的な回答も多く、話し合い、作文、発表といった言語活動を通じて意欲的に学習に取り組んでいる姿がうかがえます。

次の設問では課題が見られました。

- ・授業の最後に振り返りを行った
- ・学校に行くのは楽しい（小）
- ・先生は分かるまで教えてくれている（小）

授業の最後の振り返りについては、昨年度の質問紙調査でも同様の傾向が見られます。「授業の中で目標が示されていた」という設問には中学校で改善が見られています。「ノートに目標や振り返りを書いた」という設問には児童と生徒で差が見られました。「ノートに何を書くか」ということはその時間に課題にどのように取り組んだのかという記録であり、時間がたっても学び直すことができます。一単位時間の中で、学習内容の理解・定着・活用、言語活動の充実、ノート指導と求められるものは多いですが、各校にて授業スタイルや学習規律を整えるなどの工夫を通じて教員の授業力の向上が求められます。

「学校に行くのが楽しい」と答えている児童生徒は半数程度です。“半数も”ととらえるか“半数しか”ととらえるかで教員の意識が変わることでしょう。規範意識を問う設問も合わせて、学校が楽しく公正な場所であることを児童生徒が実感できることが大切です。

(3) 質問紙調査より～生活習慣等～

肯定的な回答が多かった設問は次の通りです。

- ・ニュースを見る
- ・家で授業の予習をしている

・家の人と学校での出来事を話す

半数以上の児童生徒が家の人と学校のことを話しています。ニュースもよく見えています。「新聞を毎日読んでいる」と回答している児童も多いです。社会に目を向け、家族間の風通しのよい家庭の状況がうかがえます。ただし、「ニュースを見る」という設問は「携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットのニュースを見る場合」も含んでいます。児童生徒が一人で携帯電話やスマートフォンを使ってニュースを見ている姿を想像すると「ニュースを見ている」という肯定的な回答が、社会性の伸長につながらない懸念を含んできます。児童生徒の携帯電話やスマートフォンの利用時間は、全国と大きく変わらず県よりは少ないですが、携帯電話、スマートフォン、ゲーム機、テレビなども含めメディアとの上手な付き合い方を習得する必要があるでしょう。

ボランティア活動への参加については、児童と生徒で回答が大きく異なりました。発達段階も考慮しながら地域行事への参加などを通じて、地域の一員として育つことが望まれます。

5 今後に向けて

二宮町教育委員会では、本調査の結果の分析と考察を行い、その結果を各学校に示しました。各学校では、それぞれの分析を加えて課題を検討し学校経営に反映させています。

今後とも、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得とともに、これらを活用して課題解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を育む授業づくりに努められるよう教育委員会は各学校を支援して参ります。合わせて、基本的な生活習慣や学習習慣の確立の大切さを家庭、地域の皆様に伝えていきたいと考えております。

特に、携帯電話やスマートフォンの利用については、近年、SNSを通じたトラブルも起こっています。保護者をはじめ地域の皆様には、携帯電話やスマートフォン、SNSの活用の手本となっただき、児童生徒の利用に際しては使用時間に制限を設けたり、適切にフィルタリングを設定したり、利用状況を確認したりして児童生徒が上手に利用できるよう支援をお願いいたします。

本町の児童生徒の健全育成のため今後ともご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。